

（第1面）

## 産業廃棄物処理計画書

令和2年 10月 30日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 豊岡市中央町2-4

氏名 豊岡市長 中貝 宗治

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0796-23-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	清滝浄化センター
事業場の所在地	豊岡市日高町十戸360番地
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3631 下水道処理施設維持管理業
②事業の規模	流入水量 337,405m <sup>3</sup> /年（令和元年度実績）
③従業員数	19人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別図-1のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別表-1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	排出量	3,544 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥処理施設（場内中間処理）の運転管理を十分行い、処理の効率化を図る。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	排出量	3,600 t	t
	(今後実施する予定の取組) 三方浄化センターの統合、下水道の水洗化率の向上に伴い、汚泥量は増加するが、汚泥処理施設（場内中間処理）の運転管理を十分行い、処理の効率化を図る。 産業廃棄物の効率化と処理コストの改善を行うため、脱水汚泥施設を休止し、汚泥濃縮処理施設の計画を進める。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 共同処理、広域処理等の効果的処理システムの構築を図る。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 広域処理の範囲の拡大を図る。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3,501 t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3,557 t	t
(今後実施する予定の取組) 三方浄化センターの統合、下水道の水洗化率の向上に伴い、汚泥量は増加するが、汚泥処理施設（場内中間処理）の運転管理を十分行い、処理の効率化を図る。 産業廃棄物の効率化と処理コストの改善を行うため、脱水汚泥施設を休止し、汚泥濃縮処理施設の計画を進める。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	全処理委託量	43 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の性状分析の定期実施とマニフェスト伝票の管理の徹底。 また、平成28年5月17日から、汚泥はクリーンパーク北但で（ごみ焼却施設）での処分を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	全処理委託量	43 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>廃棄物の性状分析の定期実施とマニフェスト伝票の管理の徹底。  産業廃棄物処理の効率化と処理コスト改善を行うため、より広範囲での産業廃棄物処理施設（汚泥濃縮施設、処理場の統合）の計画を進める。</p>		

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別表-1 管理体制

廃棄物処理 総括責任者		所属:豊岡市上下水道部下水道課	職 課長
廃棄物担当		組織名:上下水道部下水道課下水道施設係 組織人数:8人	職 主査
役 割	廃棄物処理 総括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認	
		○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○職員、維持管理業者に対する教育・啓発 ○その他関係する事項	
<p>管理体制図</p> <pre> graph TD     A[豊岡市長] --&gt; B[上下水道部長]     B --&gt; C[下水道課長(廃棄物処理総括責任者)]     C --&gt; D[下水道施設主査(廃棄物担当)]     D --&gt; E[維持管理業者]             </pre>			

別図-1 清滝浄化センター産業廃棄物の一連の処理の工程

貯留槽汚泥(余剰汚泥) → 脱水処理 → 豊岡市浄化センター乾燥処理